



3人に1人以上の学生が、 テックブログや動画サイトでプログラミングを学習

23年度新卒プログラミング言語トレンド調査

レバテック株式会社が運営する、ITエンジニア専門新卒向け就職支援エージェント、レバテックルーキー(<https://rookie.levtech.jp/>)は、2023年入社予定のエンジニア就活生214名を対象に、プログラミング言語のトレンド調査を実施いたしました。

23年度新卒プログラミング言語トレンド調査

3人に1人以上の学生が、 テックブログや動画サイトで プログラミングを学習

レバテック
ルーキー

<調査トピック>

1. 8割以上の学生が、大学生以降でプログラミング学習を開始
2. 3人に1人以上が、テックブログや記事、動画サイトでプログラミングを学習
3. 就活生が今後仕事で使用したい言語1位は、去年に続き「Python」

1.8割以上の学生が、大学生以降でプログラミング学習を開始

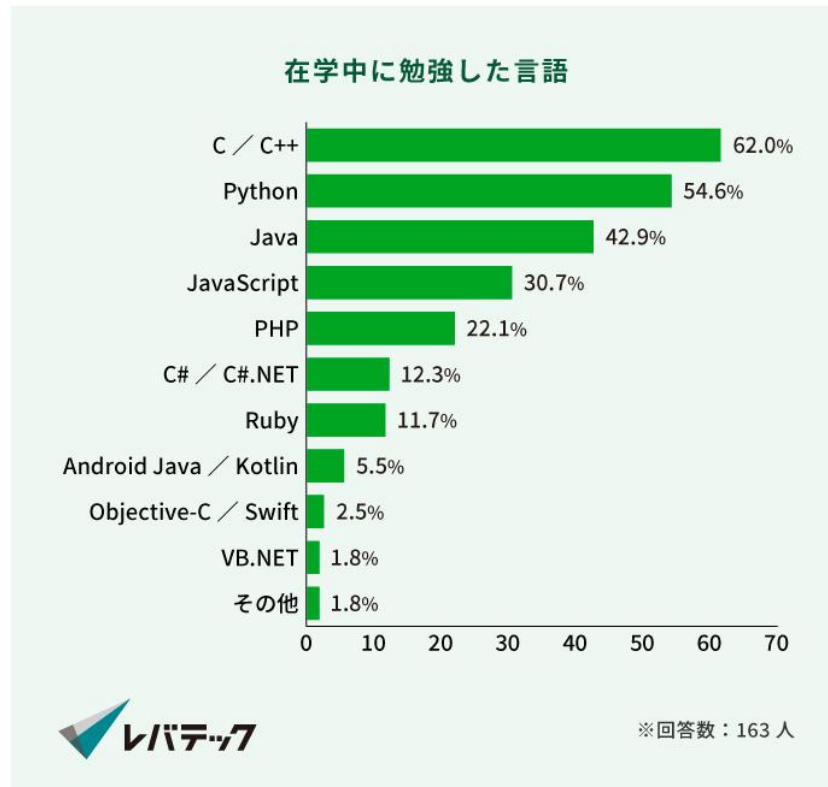
昨年(2022年新卒対象)の調査と概ね変わらず*1、今年も約85%の学生が大学で初めてプログラミングを学んだと回答しました。

在学中に勉強したプログラミング言語で最も多かったのは、昨年(2022年新卒対象)の調査*1と同様に「C/C++(62.0%)」という結果になりました。次いで「Python(54.6%)」、「Java(42.9%)」と続きます。※複数回答

文部科学省が定める「学習指導要領の改訂」に伴い、小学校でプログラミング教育が必修化されたことから、プログラミング学習をはじめめる年齢は今後、より一層若年化することが予想されます。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による世の中のDX推進も、今後プログラミング学習年齢の若年化を後押しすることが考えられます。





※1.【2020年10月発表】2022年新卒、エンジニアプログラミング言語トレンド調査
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000341.000010591.html>

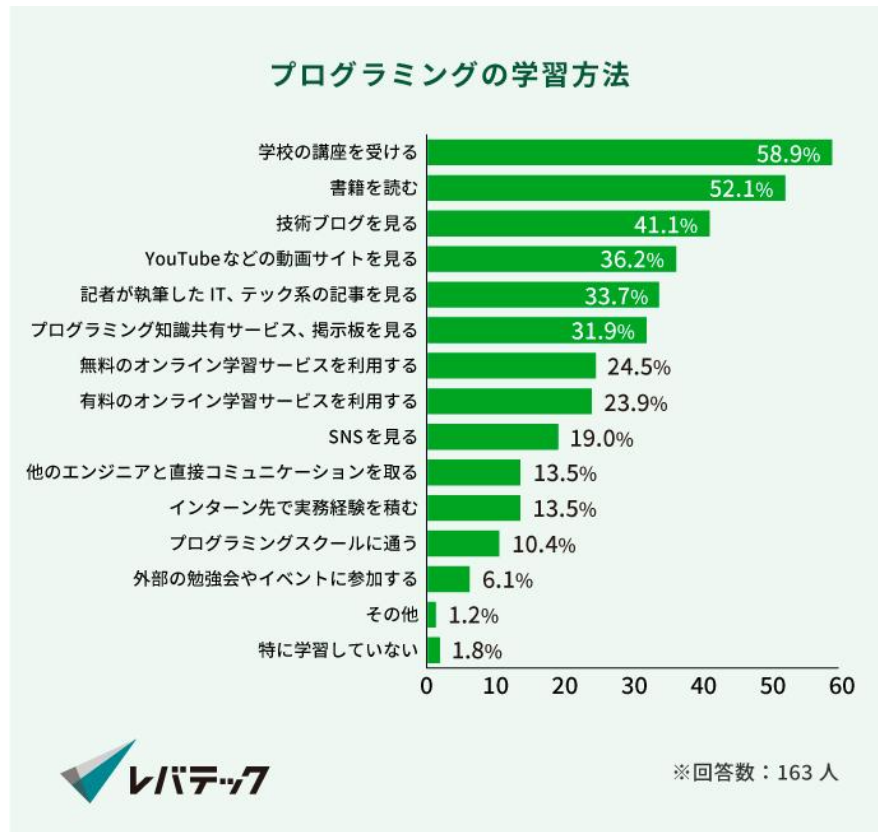
2.約3人に1人が、テックブログや記事、動画サイトでプログラミングを学習

プログラミング言語の学習方法で最も多かったのは「学校の講座を受ける(58.9%)」、次いで「書籍を読む(52.1%)」という結果になりました。大半の学生が既に授業や書籍でプログラミング学習を進めているようです。※複数回答

次いで、「技術ブログを見る(41.1%)」「YouTubeなどの動画サイトを見る(36.2%)」「IT、テック系の記事を見る(33.7%)」が続きます。※複数回答

少なくとも3人に1人の学生が、Web上で公開された記事やブログ、You Tubeなどのソーシャルメディアを参考に、プログラミングを学習していることが明らかとなりました。

また、4人に1人が「オンライン教材」でプログラミングを学習していることが分かりました。昨年(2022年新卒対象)の調査*1では、5人に1人の割合であったことから、コロナ禍でオンラインプログラミング学習サービスは、エンジニアを目指す学生にとってより身近な存在になっていることが考えられます。



3.就活生が今後仕事で使用したい言語1位は、去年に続き「Python」

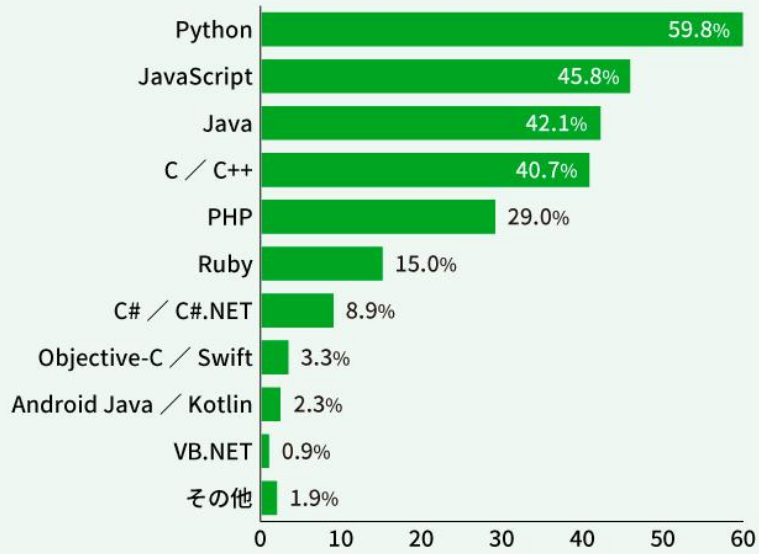
今後、仕事で使用してみたいプログラミング言語は、昨年(2022年新卒対象)の調査*1と同様に「Python(59.8%)」が最も多く、次いで「JavaScript(45.8%)」「Java(42.1%)」ということが分かりました。※複数回答

今後習得したいプログラミング言語で最も多かったのは「JavaScript(42.1%)」、次いで「Python(40.7%)」「PHP(36.0%)」と続き、「JavaScript」と「Python」は不動の人気があるようです。※複数回答

「Python」は、AIや機械学習に代表されるデータサインス領域の中で世界的にも注目されているプログラミング言語のため、今後も就活生からの「Python」人気は継続しそうです。「JavaScript」は、他の言語と比べて開発環境を整えることが容易であり、世界各国で使用されている言語のため、例年就活生からの人気が高いことが考えられます。

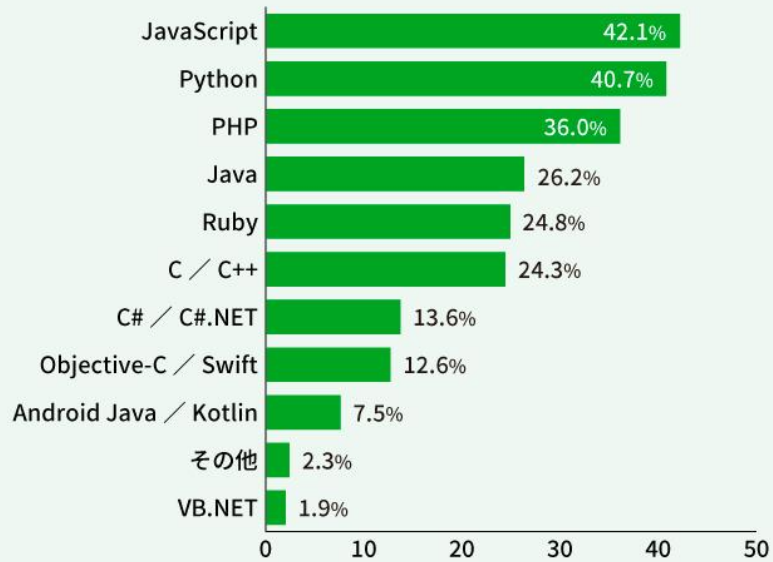
企業が求める、新卒エンジニアが入社するまでに習得してほしいプログラミング言語で最も多かったのは「Java(71.4%)」*2ということが明らかになった一方で、エンジニアを志望する学生が習得したいプログラミング言語と乖離があることから、今後エンジニアを目指す学生は市場のニーズを把握した上でプログラミング学習を進める必要があると考えられます。

就職したら、仕事で使いたい言語



※回答数：214人

今後習得したい言語



※回答数：214人

■事業責任者中嶋からのコメント

今回の調査から、エンジニアを目指す学生の約8割がすでにプログラミングを学んでいることが分かりました。

プログラミングの学習方法として、多くの学生が企業が公開するテックブログやIT、テック系の記事、動画サイト等を用いていることが明らかとなりました。今後、新卒エンジニアを採用する企業は、ソーシャルメディア等を利用し、Web上で企業の情報を開示することが、採用成功のための鍵となることが考えられます。

■調査概要

調査対象：エンジニア職で就職活動中の2023卒の大学生

調査会社：株式会社インテージ（調査協力）、レバテック株式会社 レバテックルーキーリサーチ

調査集計期間：2021年6月16日～2021年6月25日

調査方法：Webアンケート調査

有効回答者数：214名

レバテック株式会社

レバテック株式会社では、「IT業界のエンジニア・クリエイターの人生に寄り添う」をミッションに掲げ、Web・IT業界のエンジニアと企業を繋ぐSES（システム・エンジニアリング・サービス）事業を展開しています。現在は業界最大手のフリーランスエンジニア専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、転職エージェント「レバテックキャリア」、総実施数250回を超えるIT技術者向け無料イベント「レバテックラボ」など、エンジニア・クリエイターのキャリアアップのための様々なサービスを提供。累計登録者は20万人を超えます。



フリーランス・派遣・転職を支援するITエンジニア/クリエイター専門サービス



▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント

<https://freelance.levtech.jp/>

▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント

<https://creator.levtech.jp/>

▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト

<https://levtech-direct.jp/>

▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援

<https://career.levtech.jp/>

▽「レバテックエキスパート」年収800万円以上のハイクラスエンジニアの転職支援

<https://career.levtech.jp/expert/>

▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント

<https://rookie.levtech.jp/>

▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール

<https://rookie.levtech.jp/college/>

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-1632 MAIL: pr@leverages.jp